Everyone's infirmary

みんなの保健室

子宮頸（けい）がん

子宮頸がんは、子宮の出口付近である子宮頸部にできるがんです。日本では毎年約１万人の女性が子宮頸がんにかかり、毎年約 3,000 人が子宮頸がんで亡くなっています。がんの中でも若年層で発症する割合が比較的高いのが特徴で、年代別の発症割合は 20 代から増え始め、40 代をピークにその後徐々に減少していきます。

出典:国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）

原因

原因のほとんどは、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染によるものです。HPV は、女性の多くが一生に一度は感染するといわれるウイルスで、感染しても、多くの場合は自然に消滅します。しかし、一部の人では、ウイルスが体に残り続け、がんになってしまうことがあります。

治療

子宮頸がんは、早期に発見し、手術などの治療を受けることで、治すことができる病気です。しかし、発見したときのがんの進行度合いや病状によっては、手術で子宮の一部を切り取ることで、妊娠したときに早産のリスクが高まったり、子宮を失うことで、妊娠できなくなったりすることがあります。

予防

・HPV ワクチンで HPV の感染を予防
・子宮頸がん検診でがんを早くみつけて治療

HPV ワクチン

種類
２価・４価・９価ワクチン
接種回数
２～３回
（ワクチンの種類や年齢によって異なります）
接種できる医療機関
雄武町国民健康保険病院
公費で接種できる方
- 小学校６年生～高校１年生相当
- 平成９年４月２日～平成 21 年４月１日生まれの女性で、令和４年４月１日～令和７年３月 31 日までに HPV ワクチンを１回以上接種した方（令和７年度のみの経過措置）

HPV ワクチンの詳細
厚生労働省リーフレット

子宮頸がん検診（細胞診検査）

対象
20 歳以上の女性
検診間隔
２年に１回
検診場所
集団検診）令和８年２月９日（要予約）
雄武町地域交流センター
個別検診）随時（要予約）
広域紋別病院、遠軽厚生病院、旭川がん検診センター、札幌がん検診センター、釧路がん検診センター
無料で検診を受けることができる方
雄武町の住民基本台帳に登録されている、今年度中 に 21・26・31・36・41・46・51・56・61 歳になる方

子宮頸がん検診の詳細
がん情報サービスホームページ

問健康推進課保健係

Activity Report

地域おこし協力隊　～活動レポート～

地域おこし協力隊
移住・定住促進支援員
宮内　美希さん

こんにちは、今年８月から雄武町地域おこし協力隊として着任した移住・定住促進支援員の宮内です。雄武町に住み始めて約３か月が経ちました。まだわからないことも多いですが、地域の皆さんにあたたかく接していただきながら、少しずつ暮らしにも慣れてきました。日々の何気ない会話や、地域行事でのふれあいを通じて、雄武町の人のあたたかさや、自然、空気のきれいさなど、たくさんの魅力を感じています。その魅力を町内外の方に発信していくためにも、地域おこし協力隊として、町民の皆さんと直接ふれあえるイベントを定期的に開催していけたらと考えています。

先日は、雄武町図書館主催のハロウィンイベントの一角をお借りして、協力隊として小さな催しを企画しました。当日は、いくらすじ子ちゃんが仮装をして登場したり、ワークショップを行ったりと、子どもたちを中心に多くの笑顔に出会えた一日となりました。私自身も、皆さんの楽しそうな様子に元気をもらい、改めて地域のあたたかさを実感しました。

次回はクリスマスイベントを予定しています。こうした場を通じて、地域のつながりや交流が少しずつ広がっていけば嬉しいです。「こんなイベントをやってみたい」という声も大歓迎ですので、ぜひお気軽にご相談ください。

イベントをはじめとするさまざまな地域活動を通じて、町外にお住いの方々に雄武町の魅力を知っていただき、最終的には移住や定住へとつながる『きっかけ』をつくっていけたらと考えています。そのためにも、空き家や住宅制度、移住支援策などに関する情報をきちんと整理し、私自身がしっかりと理解したうえで、町外から相談に来られる方々に対して安心して頼っていただける『入口』となれるよう努めていきます。また同時に、町内にお住いの皆さんにとっても、暮らしの中で気軽に相談できるような存在になれるよう、日々の関わりや会話を大切にしながら、地域に根ざした活動を続けていきたいと思います。

※地域おこし協力隊でこのコーナーを順番に担当しています。お楽しみに。

Kids わんぱくキッズ（若草保育所）～おおきくなったら～

警察官

なかじま
ゆうせい くん

つめやさん

すが
みすず ちゃん